



たまちゃんは自動車エンジンの製造技能員として勤務しています。会社の研修での聞こえに悩んだことがきっかけで、会社で FM システムを使用されています。それではたまちゃんの FM ストーリー、お読みください。



たまちゃん
神奈川県在住。
会社で FM システムを使用中。

質問 ① : 自己紹介をお願いします。

現在、自動車エンジン組立課に在籍し、製造技能員として勤務しています。将来は福祉系の資格を取って、障害者の方にスポーツを楽しんでもらうことが夢です。趣味はスキーと音楽で、音楽だと特にジャズが好きです。

質問 ② : 現在使用中の補聴器を教えてください。

2008年9月頃より、リサウンド社のスパークスを両耳で使っています。

質問 ③ : 現在使用中の FM システムを教えてください。

2009年6月頃より、送信機はZoomLink、受信機は MicroMLxS を使っています。



質問 ④ : FM システムを使う前、FM システムについてご存知でしたか。

私は当時、聾学校在学中に FM システムについての情報は知っていました。ただ学生時代はアナログ補聴器を使用していたので、FM は使っていませんでした。実は補聴器販売店のスタッフの方を困らせてしまうほど、私はアナログ補聴器の音が好きで、デジタル補聴器の音が好きではありませんでした。

質問 ⑤ : FM システムを使おうと思ったきっかけを教えてください。

きっかけは会社の研修です。補聴器の音量を上げ、講師が一般のマイク（スピーカー）を使っても、ほとんど聞こえず困っていました。その状況を何とかしたいと思い、FM システムを使用することに決めました。初めて試聴したとき、離れていても話し手が近くにいるかのように聞きやすかったと感じました。

私は生まれつき聴覚障害で、聴力も右耳が 116 dB、左耳が 120 dB 以上あります。中途難聴軽度者と間違われるほど電話もできるので、今でも職場のみんなからちゃんと聞こえていると誤解されることがあります (;_;)。

質問⑥：どのようなシーンで FM システムを使っていますか？

主に会社のミーティングや講習で使用しています。自分で送信機の電源をオンにし、話し手の方の首にかけてもらっています。あるいは話し手の方に渡さないで机などに置いて使用することもあります。プライベートではあまり使っていませんが、病院で先生の声を聞くときに使うことがあります。



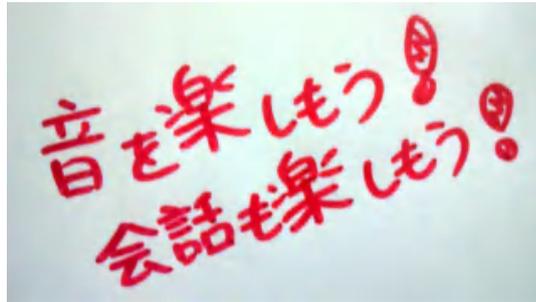
質問⑦：FM システムを使っていて、難しいことはありますか？

一般のマイク（スピーカー）と FM システムと一緒に使用すると、声があいまいになり聞き取りにくいことがあります。また話し手の声の音質や大小によって聞こえないときがあります。補聴器の音量を上げれば聞こえるのですが、周りの音も一緒に大きくなってしまいます。補聴器と同じように、自分で FM の音量調整ができれば良いと思います。

質問⑧：FM システムはどんな存在ですか？

人とのコミュニケーションをアシストしてくれる大切なパートナーです。私のように重度難聴者でも声を聞き取れますが、FM システムを使うことで、より聞こえやすくしてくれ、喜びを与えてくれます。

質問⑨：FM システムの使用を検討されている方にメッセージをお願いします。



-- たまちゃんの補聴器、FMをケアされている販売店さまからのメッセージ --

最初のたまちゃんとの出会いは、2007年夏頃と記憶しています。高級な音漏れ防止のヘッドフォンで音楽を聴きながら、病院の補聴器外来相談に来られました。本当に音楽とスポーツの大好きな明るく活発な高校生でした。またアナログ補聴器の音質が大好きでデジタル補聴器の器種選択とフィッティングに半年以上かかったことが思い出されます。デジタル補聴器が上手くいくようになってからは会話も今まで以上に上手く聞き取り補聴器の外部入力から大好きな音楽を聴いたりして補聴器使用の達人になっていました。

就職1年目、2009年の春に「たまちゃん」から会社研修会で講師の声が聞こえにくいと相談がありました。早速 FM システムを研修会で試してもらったら、すぐに改善しました。高校時代にも FM システム（興味薄でしたが...）は試聴していたので、スムーズに使うことができました。FM システムは、送信側と受信側の協力で大きな効果が出るシステムと理解しております。今では会社側のご理解もあり、会社の朝礼で社長を始め上司の方が送信機を装着してくれているそうです。これからもたまちゃんを応援しています。音楽！スポーツ！将来の夢に向かって頑張ってください。

リケン補聴器センター 営業部 今井様より